

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品の名称	: タイル・ストーンリフレッシュ
推奨用途	: 建築物, 構造物, 床, 機械類, アルミ建材等の油污れ除去、洗浄用
使用上の制限	: 推奨用途以外には使用しないこと。
会社名	: 日本ケミカル工業株式会社
住所	: 〒424-8558 静岡県静岡市清水区吉川8 1 3番地
電話番号	: 054-345-3476
FAX番号	: 054-347-6865
担当部署	: 技術部

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	—	
健康に対する有害性	皮膚腐食性/皮膚刺激性	区分1
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分1
	皮膚感作性	区分1
環境に対する有害性	—	

注) 上記のGHS分類で区分の記載がない危険有害性項目については、「区分に該当しない」又は「分類できない」に該当する。なお、これらに該当する場合は後述の11項に記載した。

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語:	危険
危険有害性情報:	H314 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷 H318 重篤な眼の損傷 H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

注意書き:	【安全対策】 P260 蒸気, ミスト, スプレーを吸入しないこと。 P264 取扱い後はよく手を洗うこと。 P280 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。 P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 【応急措置】 P301+P330+P331 飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。 P303+P361+P353 皮膚(または髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣服をすべて脱ぐこと。皮膚を流水、シャワーで洗うこと。 P363 汚染した衣類を再使用する場合には洗濯すること。
-------	--

P304+P340 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
P310 直ちに医師に連絡すること。
P305+P351+P338 眼に入った場合：水で15分以上注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P302+P352 皮膚についた場合：多量の水と石鹸で洗うこと。
P333+P313 皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。
P362+P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

【保管】

P405 容器を密栓して涼しく、換気の良い所で施設して保管すること。

【廃棄】

P501 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物
含有成分及び濃度

化学名	濃度 wt%	CAS No.	化審法 No.	安衛法 No.	化管法 No.	毒劇法 No.
メタケイ酸ナトリウム	2.0~3.0	非公開	非公開	非該当	非該当	非該当
エチレンジアミン四酢酸四ナトリウム四水塩	2.0 (平均値)	13235-36-4	2-1265	非該当	595	非該当
トリエタノールアミン	2.0 未満	102-71-6	2-308	381	非該当	非該当
2-(N-トデシル-N,N-ジメチルアミノ)アセテート	1.0 (平均値)	683-10-3	2-1291, 2-2709	非該当	681	非該当

上記成分の他、界面活性剤、防錆剤、ビルダー、染料及び水を含む。

化審法 No. : 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律 官報公示整理番号 (既存化学物質)

安衛法 No. : 労働安全衛生法施行令別表第九 政令番号 (名称等を表示/通知すべき危険物及び有害物)

化管法 No. : 特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律 管理番号 (指定化学物質)

毒劇法 No. : 毒物及び劇物取締法 法律又は政令番号 (毒物又は劇物)

4. 応急処置

吸入した場合 : 蒸気を吸い込んだ場合、直ちに新鮮な空気のある場所に移し、安静にすること。
もし呼吸が不規則な場合や吐き気がする場合は、速やかに医師の診断を受けること。

皮膚に付着した場合 : 汚染された衣服を脱ぎ、局部を石鹸と水で十分洗うこと。
外観に変化が見られたり、痛みが続く場合は、直ちに医師の診断を受けること。

目に入った場合 : コンタクトの有無を確認し、着用している場合は外し、直ちに多量の清浄な水で15分以上洗眼し、瞼の裏まで完全に洗うこと。その後、医師の診断を受けること。

飲み込んだ場合 : 吐かせないで直ちに水を飲ませ、直ちに医師の診断を受けること。
ただし、被災者に意識がない場合は何も与えないこと。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 : 情報なし。

応急措置をする者の保護 : 救助者は、適切な保護具を着用する。

医師に対する特別な注意事項 : 情報なし。

5. 火災時の措置

- 特有の消火方法 : 本製品は引火の危険性はないが、周辺火災の場合には速やかに容器を安全な場所に移すこと。
- 消火を行う者の保護 : 適切な保護具（耐熱性着衣、手袋、呼吸保護具等）を着用すること。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
: 漏洩した場所の周辺にはロープを張る等して人の立ち入りを禁止すること。
作業の際、保護手袋、保護マスク、保護前掛け等を着用し、直接人体に触れないようにすること。
屋内で漏洩した場合は、窓、ドアを開けて十分に換気を行うこと。
- 環境に対する注意事項
: 流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起ささないようにすること。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材
- 回収
: 少量の場合、おがくず、ウエス、砂、紙等を用いて吸着させて空容器に回収すること。
その後、漏出区域周辺を水で洗い流すこと。
洗浄した水等は、地面や排水溝、河川等にそのまま流さないこと。
多量の場合は、土のう、盛土などで流出を防ぎ、回収処理すること。
- 廃棄
: 廃棄物は関連法令に基づいて処理すること。
- 二次災害の防止策
: 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 適切な保護具（保護手袋、保護マスク、保護前掛け、ゴーグル等）を着用すること。
換気のよい場所で使用し、容器はその都度密栓すること。
- 安全取扱い注意事項 : 他の薬品類（特に強酸化剤、強塩基、強酸）との混合は行わないこと。
- 接触回避 : 『10. 安定性及び反応性』を参照。
- 衛生対策 : 取扱い後はよく手を洗うこと。

保管

- 安全な保管条件 : 密栓し、直射日光を避け、風通しの良い冷暗所に保管すること。
火気、熱源から遠ざけて保管すること。
- 安全な容器包装材料 : 容器材質として金属は使用せず、機械的に強く耐食性のものを使用すること。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度

- ばく露限界値 : 製品に関する有用な情報なし。
- 追加情報 : 組成物質の暴露限界を記載する。
トリエタノールアミン
日本産業衛生学会（2005年版） 設定されていない
ACGIH（2005年版） TLV-TWA 5mg/m³

設備対策

- : 屋内作業場での使用は、発生源を密閉する設備または蒸気濃度が許容濃度以下になるような局所排気装置を設置すること。
取扱い場所の近くに洗眼及び身体洗浄のための設備を設けること。

適切な保護具

- 呼吸器の保護具 : 必要に応じて呼吸用保護具を使用すること。

- 手の保護具 : 必要に応じて保護手袋を着用すること。
眼及び又は顔面の保護具 : 必要に応じて保護眼鏡を着用すること。
皮膚及び身体の保護具 : 必要に応じて耐油性手袋、保護前掛けを使用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 液体
色	: 黄色透明
臭い	: 僅かな薬品臭
沸点又は初留点及び沸騰範囲	: データなし
可燃性	: データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	: データなし
引火点	: なし
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
pH	: 12.6 (25°C)
動粘性率	: データなし
蒸気圧	: データなし
密度及び／又は相対密度	: 1.03 g/cm ³ (20°C)
相対ガス密度	: データなし
粒子特性	: データなし
その他データ	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 法規制に従った保管及び取扱においては安定と考えられる。
化学的安定性	: 法規制に従った保管及び取扱においては安定と考えられる。
危険有害反応可能性	: 酸化性なし、自己反応性なし、爆発性なし。
避けるべき条件	: 有用な情報なし
混触危険物質	: 強酸化剤、強酸、強塩基
危険有害な分解生成物	: 有用な情報なし。

11. 有害性情報

※下記有害性情報は、JIS Z 7252 により混合物としての GHS 区分を分類した結果に基づく。

急性毒性	: 混合物の急性毒性（経口）>2,000mg/kg より、区分に該当しない 混合物の急性毒性（経皮）>2,000mg/kg より、区分に該当しない その他急性毒性については、「区分に該当しない」又は「分類できない」
皮膚腐食性／皮膚刺激性	: 区分 1 成分 \geq 1%、pH \geq 11.5 より、区分 1
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	: 区分 1 成分 \geq 1%、pH \geq 11.5 より、区分 1
呼吸器感作性	: データ不足により、分類できない
皮膚感作性	: 区分 1 成分 \geq 1.0%より、区分 1
生殖細胞変異原性	: データ不足により、分類できない
発がん性	: データ不足により、分類できない
生殖毒性	: データ不足により、分類できない
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	: データ不足により、分類できない
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	: データ不足により、分類できない
吸引性呼吸器有害性	: データ不足により、分類できない

追加情報 : 組成物質の有害性情報を記載する。
トリアエタノールアミン
急性毒性: 経口ラット LD₅₀ 8680mg/kg
経皮ウサギ 皮膚に2000mg/kgを24時間経皮ばく露した試験で死亡が認められず。
皮膚腐食性・刺激性: ヒトで高濃度ばく露又は反復ばく露により皮膚刺激性が認められた。
眼に対する重篤な損傷/刺激性: ウサギを用いた眼刺激性試験で刺激性が認められ、14日後に完全に回復した。
皮膚感作性: ヒトでアレルギー性接触皮膚炎の報告がある。
特定標的臓器毒性(単回暴露): ヒトへの影響として蒸気が鼻を刺激する。

12. 環境影響情報

※生態毒性及びオゾン層への有害性は、JIS Z 7252により混合物としてのGHS区分を分類した結果に基づく。

生態毒性

水生環境急性有害性: データ不足により分類できない

水生環境慢性有害性: データ不足により分類できない

オゾン層への有害性: データ不足により分類できない

生態毒性 : 有用な情報なし
残留性・分解性 : 有用な情報なし
生体蓄積性 : 有用な情報なし
土壤中の移動性 : 有用な情報なし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 事業者は産業廃棄物を自ら処置するか、又は知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合は、そこに委託して処理をすること。
汚染容器・包装 : 容器は、中身の液を使い切ってから廃棄すること。
製品が付着している容器、機械装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝にそのまま流さないこと。
廃棄物の処理、清掃に関する法律及び、関係する法律に従って処理を行うか委託すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

陸上規制情報 (ADR/ RID/ ADN)

UN No. : 3267
Proper Shipping Name : CORROSIVE LIQUID, BASIC, ORGANIC, N.O.S.
(contains DISODIUM TRIOXOSILICATE)
Class : 3
Packing Group : III

海上規制情報 (IMDG)

UN No. : 3267
Proper Shipping Name : CORROSIVE LIQUID, BASIC, ORGANIC, N.O.S.
(contains DISODIUM TRIOXOSILICATE)
Class : 3
Packing Group : III
Marine Pollutant : 非該当

航空規制情報 (ICAO/ IATA)

UN No. : 3267
Proper Shipping Name : CORROSIVE LIQUID, BASIC, ORGANIC, N.O.S.
(contains DISODIUM TRIOXOSILICATE)
Class : 3
Packing Group : III

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質
: 非該当

国内規制

陸上規制情報 : 道路法に定めるところに従うこと。
航空規制情報 : 航空法に定めるところに従うこと。
海上規制情報 : 船舶安全法に定めるところに従うこと。

特別の安全対策 : 輸送に際しては直射日光を避け、容器の落下、破損、漏れの無いように積み込み、荷崩れの防止を確実にすること。

緊急時応急措置指針番号 : 154 毒性物質及び/又は腐食性物質 (不燃性)

15. 適用法令

消防法 : 非危険物
労働安全衛生法 : 名称等を表示/通知すべき危険物及び有害物: トリエタノールアミン
化管法 : 第一種指定化学物質 (2023年4月1日以降)
・ エチレンジアミン四酢酸四ナトリウム四水塩
・ 2-(N-トリエチル-N,N-ジメチルアミノ)アセート
毒物及び劇物取締法 : 非該当
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 : 産業廃棄物規制

16. その他の情報

引用文献 : JIS Z 7252:2019 GHS に基づく化学物質等の分類方法
JIS Z 7253:2019 GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS)
日本化学工業協会 GHS 対応ガイドライン 2019年6月
GHS 国連文書 (仮訳 改訂4版)、GHS 関係省庁連絡会議 (2011)
経済産業省 事業者向け GHS 分類ガイダンス (平成25年度改訂版)
原料メーカーの SDS

※注意

記載内容は、現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、記載事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取り扱い願います。